

○ 環境調査結果（令和元年度）

(1) (株)HIRAYAMA実施分

調査項目		実施頻度	結果概要
岡田山の廃棄物 (掘削時)	27項目 (水銀、カドミウム等)	1,000 m <sup>3</sup> ごとに 1回(計49回)	土壤溶出量、含有量とも基準値以下
改良土 (リサイクル製品)	27項目 (水銀、カドミウム等)	800 m <sup>3</sup> ごとに 1回(計92回)	"
大気質等	粉じん	年4回	撤去開始前後で変化なし*
	アスベスト	年4回	"
	硫化水素・メタン	年4回	検出なし
騒音・振動		年4回	撤去開始前後で変化なし*
水質	地下水	28項目 (水銀、カドミウム等)	環境基準値以下
	場内排水	28項目 (水銀、カドミウム等)	基準値以下
	浸出水	28項目 (水銀、カドミウム等)	環境基準値以下
底質 (事業場出入口付近)	ダイオキシン類	年1回	"

\* 基準等の設定はないため、測定値の年間の推移を確認している。

(2) 本市実施分

調査項目		実施頻度	結果概要
岡田山の廃棄物 (掘削時)	26項目	月1回	令和元年11月の調査で「フッ素及びその化合物」の溶出量が基準値を超過 <sup>*1</sup> (0.94mg/l【基準値0.8mg/l以下】) その他の土壤溶出量、含有量は基準値以下
	ダイオキシン類	2箇月に1回	環境基準値以下
土壤 (リサイクル製品搬出時の検査)	26項目 (水銀、カドミウム等)	年2回	土壤溶出量、含有量とも基準値以下
土壤 (汚染洗浄後の検査)	26項目 (水銀、カドミウム等)	—	汚染土壤の受入がなかったため測定不可
大気質等	一般大気、3項目 (二酸化窒素等)	常時	環境基準値、京都市環境保全基準値とも基準値以下
	有害大気、13項目 (水銀、ベンゼン等)	年1回	環境基準値、京都市環境保全基準値とも基準値以下(環境省が環境指針を設定している項目については、全て同指針値以下)
	粉じん(降下ばいじん)	年4回	京都市環境保全基準値以下
	アスベスト	年1回	撤去事業開始前と同程度の測定値 (基準等の設定はない。)
	硫化水素	年1回	規制基準値以下
	メタン	年1回	撤去事業開始前と同程度の測定値 (基準等の設定はない。)
騒音・振動		年1回	〃
水質	地下水 (水銀、カドミウム等)	年2回	環境基準値、京都市環境保全基準値とも基準値以下
	河川水 (水銀、カドミウム等)	年2回(3地点) 年6回(1地点 <sup>*2</sup> )	〃
	底質 (水銀、カドミウム等)	年1回	暫定除去基準値以下
ダイオキシン類	大気	年4回	環境基準値、京都市環境保全基準値とも基準値以下
	地下水	年1回	〃
	河川水・底質	年1回	〃
	周辺土壤	年1回	〃

\*1 「フッ素及びその化合物」が検出された廃棄物については、事業場内の処理施設にて除去処理し、処理後物については、有害物質がすべて基準値以下であり、安全に使用できるものであることを確認している。

\*2 常時監視地点であるため年6回調査を実施している。